

## 『前略、底なし沼より』

どろどろの汚泥の中に 僕はいる  
汚泥の正体は 不安 恐怖 焦燥  
もがけもがくだけ 沈む 沈む  
薬を飲めば 少しだけは浮かべる  
でも 薬が切れれば また元通り  
何も出来ないし やる気が出ない  
せいぜい タバコを吸うぐらいで  
肩までどっぷり 汚泥の中にいる  
汚泥の中は 当然に居心地が悪い  
抜け出せる日は 果たして来る？  
それは 全く分からないんだよね

それでも 僕は生きてます  
なんとか 僕は生きてます

手を差し伸べてくれ なんて  
虫のいいことは言わないから

せめて この沼の中から  
僕の『今』を届けますよ

## 『ニコチン』

今の僕に 趣味と呼べる物は ない  
せいぜい 色んなタバコを吸うぐらいだ  
挙げれば 紙巻き 手巻き 煙管 パイプ そして葉巻  
親からは ガンになるぞと脅されてるけど  
あいにく やめるつもりはない

紫煙をくゆらす そのひとときが  
皮肉なことに 僕を僕たらしめている  
身体によくないのは 百も承知  
お金の無駄なものも 百も承知

何より 今タバコを取り上げられたら  
いよいよ持って 僕はダメになってしまう

ニコチンと己の存在意義を  
強引にでも紐付けする  
そんな 毎日

## 『苛立ち』

いつも 『何か』に苛立っている  
それは 思い通りにならない日常  
または 好転しない心の問題とか  
探せば いくらでも出てくるもの  
いくら 平静さを保とうとしても  
それは 一向に治まる気配がない

イライライライラ

カリカリカリカリ

ジリジリジリジリ

正体？ 分かっれば苦労しない  
何か？ 怖くて 恐ろしくて さ  
慌てて 薬を飲んで やり過ぎす  
毎日が その繰り返しだよ ねえ  
幸せ？ どこにあるんだろうねえ  
薬漬け それが今の僕なんだよね  
休めと 言われているけれど さ  
永遠に この責め苦が続くのかと  
ぞつと 背筋を冷たいものが走る  
薬薬薬 薬を下さいとにかくさあ

この忌々しい苛立ちが

少しでも大人しくなるのなら

僕は 中毒者と呼ばれても構わない

# 『人生の折り返し』

もうすぐ 四十二歳になる  
最近はや 時間の流れがさ  
早くって 早くってもうね  
人生のさ 折り返しを過ぎ  
いやもう 八十まで生きる  
なんてさ 考えちゃいない  
だからさ 残りの人生をさ  
生きるか 途中で幕引きを  
強引にさ しちまおうかと  
考えてさ 死ぬに死ねずに  
ただのさ 糞便製造マシン  
そんな物 になってまでさ  
生きたい だろうか？ 僕  
弱さだけ いっちょ前だし  
ちんたら ちんたら生きて  
誰にもさ 泣かれずにさあ  
新聞のね お悔やみ欄にね  
載りたい 夢があつたんだ  
過去形だ きつと叶わない  
ゴミ虫は 其らしく死ぬよ